



毎月十五日発行
 所 大 社 会
 宗 像
 〒811-3505 福岡県宗像郡玄海町
 電話 0940-62-1311(代)
 http://www.munakata-taisha.or.jp/
 定価 一年送料共 1000円

神苑賑わい 春季大祭斎行

桜花爛漫の御神域において恒例の春季大祭が、四月一日より二日に亘り斎行された。

この祭りは、江戸時代の書物「宗像事蹟考」に「四月朔日、御作礼祭」とあり、五穀豊饒を祈るまつりである。

大祭に先立ち、三月二十九日、地元総代並に協力会の奉仕により、早朝から雨の中、参道の職立てや、各殿舎の築造張り、注連縄替え等の諸準備作業が行われた。

三月三十日、午後五時地
 主祭 同六時宵宮祭を執り



明日からの大祭が無事斎行されるよう祈念された。その夜全神職・氏子奉幣使は参籠に入った。

暖かい春の日差しが注ぐ四月一日午前十一時、太田宮司以下神職、氏子奉幣使、倉元氏子々々長、地元総代、他崇敬者が斎館正面玄関前に列立し、一鼓の合図の後参進、殿舎にてお祓いを受

座に着座し、宮司一拝の後、献饗、幣帛供進と続き、宮司の国家鎮護・皇至安泰、五穀豊饒を祈る祝詞が奏上され、次いで氏子奉幣使、福岡町若小台、堺豊三郎

氏 が奉幣詞を奏上した。次に昭和三年の昭和天皇御即位大嘗祭に際し、福岡県に主基藩村が定められた時舞われた國風舞を、特別の思召しを以って当社社にのみ伝承保存されている主基地方風俗舞が、同保存会(田中保政会長、会員奉仕により)勇壮に奉納



総社祭終了後、高宮祭、第二宮・第三宮祭、宗像護国神社では、宗像市郡の遺族百余名、県遺族連合会会長、小山福岡県議会議員を始め、各市町長・同

日同様うららかな好天に恵まれ、太鼓の音が神域にこだまし、春季大祭一日祭が斎行され、海上安全大漁祈願に併せて若布献上奉告の祝詞が奏上された。

四月一日午前十一時、昨日同様うららかな好天に恵まれ、太鼓の音が神域にこだまし、春季大祭一日祭が斎行され、海上安全大漁祈願に併せて若布献上奉告の祝詞が奏上された。

午後二時から、拝殿に於いて献茶祭(南坊流小方社中)が斎行、口頃から当社で茶道を学んでいる巫女が、挨拶さばきも鮮やかに御点前を披露し、香香しい濃茶が神前に捧げられた。

祈願殿参拝符合ロビィに於いては、巫女による生け花展も開催、春の花をあしらった作品、王宮花並、大祭期間中参拝に訪れた人々の目を惹きました。また、この日の午前九時より当社の神賑行事である奉納剣道大会が開催され、日頃練習している少年少女が技を競い合い、最終日気合の入った声と保護者等の声援が、大祭に一層花を添えた。かくして二日に亘る春季大祭は絶好の天候に恵まれ、多くの参拝者で境内は大いに賑い、神人相楽のもと、無事滞りなく終了した。

神具・装束
 結婚式用品
 株式会社 井筒
 福岡店 福岡市博多区東公園一丁目三三(082)245-0045
 電話 福岡(092)651-1940 六本
 本店 京都市下京区通小路六条北入(075)600-8231
 電話 京都(075)341-1341 代一
 電話 京都(075)341-1341 代一

木組の家
 匠の技
 株式会社 弘江組
 総合建設業
 事務所 〒811-3406 福岡県宗像市大字桶元一〇二五
 電話 (0940) 311-5676

平成十三年若布献上採取表

神湊	石津 康武
鐘崎	松尾 伸隆
津屋崎	白石 勝年
福岡	花田 勝春
大島	井ノ上和嘉
地ノ島	井上 虎太
	矢野 貞夫
	廣渡 貞夫
	榎本 安生
	山口 国一
	岩崎 悟
	立石 智

順不同敬称略



御 礼
 春季大祭斎行に際しましては、皆様方より心からなる御祝賀を賜り厚く御礼申し上げます。お陰をもちまして、祭典も無事厳肅裡に斎行することができました。ここに紙面をかり、謹んで御礼申し上げますと共に、皆様方の益々の御繁栄を心よりお祈り致します。平成十二年四月吉日 宗像大社社務所 各位



宗像大社の秋の境内を飾る菊花展も、年月を重ねて早三十年を数え多くの観菊者を楽しませている。菊の原産地は中国で、奈良時代中期遣唐使によつて、我が国にもたらされたものといわれている。菊花展方式の日本の菊作りの基が出来たのは江戸時代で、特に大きな花をつける大輪菊は江戸中期頃に大輪の新品種を競う「菊合せ」が盛んになり、次々と優れた品種が誕生した。入賞するに新たな花芽が数箇にもなったため、一種千金と名譽をかけて一般愛好家が交配実生に熱中した。また各地で地域独特の菊が育成されたのもこの頃で、江戸菊伊勢菊・嵯峨菊・肥後菊等地名を冠した古典菊も普及し、この時代にはほとんど現在の菊作りの型が揃った。花展出品用の菊の増殖栽培は挿し芽が一般的で、作品の種類により親株から別れ完成品になるまでの年月が多少違ってくる。盆栽菊は十五ヶ月〜八年、大型千輪咲き三年、大懸崖十五ヶ月、大輪三本立盆栽七ヶ月最も短い補助作りは四ヶ月で作品となり出品される。さて、この親株は冬至芽を使う。冬至芽は冬の厳しい寒さに耐えロゼット(節間がつまりずんぐりとした草姿で葉数の多い状態をいう)姿で春を迎える。暖かくなるとロゼットが破れて成長期に入り、これを親株とする。春盛り(四〜五月)が挿し芽の時期で今新たな作品作りの第一歩を踏み出している。一年草の菊を芸術品として作出する菊花会会員の努力と研究の成果が秋の境内を彩る。(百・工)

余滴
 宗像大社の秋の境内を飾る菊花展も、年月を重ねて早三十年を数え多くの観菊者を楽しませている。

この春、神職(名入社)につき人事異動を左記の通り行いました。

宮司 太田 可愛	文化財管理事務局長(兼社務本局長)
権宜 神島 定	社務本局長
権宜 升谷 勝良	
山田 幸雄	文化財管理事務局長代理
石橋 清寿	庶務部長
権宜 堤 宏	経理部長
高向 正秀	祭儀部長
渡邊 秀丸	庶務部庶務課長
杉山 安彦	祭儀部儀式課長
宇都宮 勤	海洋分局事務局長 沖中津彦
伊藤 佳和	庶務部庶務課長
葦津 幹之	経理部会計課長
佐々木 大治	経理部庶務課長
中原 裕生	経理部会計課長
御床 直之	庶務部庶務課長
大塚 宗延	庶務部庶務課長
出仕 飛来 孝佳	祭儀部賽務課長
長友 貞治	祭儀部儀式課長
藤田 俊介	祭儀部儀式課長

四月一日付

高宮参道に手摺奉納

北九州市在住、倉元愛子氏



当大社境内の南側の小高い丘に宗像大神降臨の地と伝えられている高宮がある。今回、倉元愛子氏（北九州市小倉北区在住）が、高宮参道に、手摺りを奉納した。手摺りの工事は、三月下旬より進められ、ステンレス製のしっかりとしたものが、四月一日の春季大祭に合わせ、完成した。

福間町本木の倉元繁樹氏（故人）に嫁がれた。この故繁樹氏は宗像大社を篤く崇敬され、心字池付近にある一対の大きな銅灯笼を昭した。今まで参拝をひかえていた、足の不自由な方、高齢な方もこれからは安心して参拝出来、喜んでいただけよう。また弟の清彦氏は、現在宗像大社子会長の御夫婦、一族で大社を崇敬いただき、誠に欲びに絶えないことである。

昭和四十六年の宗像大社「昭和の大造営」完成の折、還宮還座祭並びに同奉祝大祭の神賑行事として西日本菊花大会が開催され多くの参拝者に深い感銘を与えました。しかし、その大会には津屋崎地区を除いては、地元製作者の出品は殆ど無く、当時の関係者の尽力により協議の結果、昭和四十七年十一月十九日宗像大社齋館にて「玄海町成人学級菊学級」にて約四十名程度で発足し、毎年十一月に宗像大社にて開催される西日本菊花大会等に出品してまいりました。

平成二年に「宗像菊友会」として新設された。その後、宗像大社に御奉仕させて頂くこととなりました。宗像大社に御奉仕させて頂くこととなりました。宗像大社に御奉仕させて頂くこととなりました。

宗像大社に御奉仕させて頂くこととなりました。宗像大社に御奉仕させて頂くこととなりました。宗像大社に御奉仕させて頂くこととなりました。

宗像菊友会入会のお誘い

昭和四十六年の宗像大社「昭和の大造営」完成の折、還宮還座祭並びに同奉祝大祭の神賑行事として西日本菊花大会が開催され多くの参拝者に深い感銘を与えました。しかし、その大会には津屋崎地区を除いては、地元製作者の出品は殆ど無く、当時の関係者の尽力により協議の結果、昭和四十七年十一月十九日宗像大社齋館にて「玄海町成人学級菊学級」にて約四十名程度で発足し、毎年十一月に宗像大社にて開催される西日本菊花大会等に出品してまいりました。

特に昭和五十九年の第九回大会において至難の技といわれる大輪の部に大森敏氏が弱冠三十二歳で、農林水産大臣賞を受賞し、その最年少記録は現在も破られていません。その他にも多くの方が大臣賞受賞し、現在でも熱心に活躍を続けています。菊作りを始めようと思われている方、どうぞお気軽にご連絡ください。初めて作ろうと思われる方、大歓迎致します。

一、講習会開催日 毎月第二水曜日
二、会場 宗像大社
三、対象 宗像市並び近郊在住の男女・年齢不問
四、会費 年会費 三千元
五、受付・問い合わせ 宗像大社内事務局 中原 裕生宛
☎094-621-2311

宗像大社に御奉仕させて頂くこととなりました。宗像大社に御奉仕させて頂くこととなりました。宗像大社に御奉仕させて頂くこととなりました。

第五回奥宮野球塾

「野球について少し考えてみませんか」という呼びかけのもと、奥宮野球塾が五回目を迎えた。今回は時期的なこともあり、この春高校に進学が決まっている生徒十三名を対象に、計八回「う」にかなう」という考え、「う」なるか、「へ」と行動するため、基本を見つめ直すことから始め、希望者ジュニア技術などの応用までをみっちり鍛え直した。

三月三日午後三時、本殿にて開始奉告祭を挙行。祭典終了後高宮へ移動し鎮魂塾生一同は技術指導に先がけ各々が高校野球に向

けての心構えを再確認し合っ。翌四日、十日、十一日、十六日、十七日、十八日、二十日と七日間、津屋崎町の宮地嶽ルークエストグラウンドにて当社奥宮種彦塾員、福岡教育大学野球部中里文彦・石塚真也部員の三名が指導にあたり、春からの希望と期待を夢を抱いている球児と共に汗を流した。

第五回奥宮野球塾生
竹井 健児（福岡中）
小田 巧（福岡中）
白柿 巨（福岡中）
鐘井 達路（城山中）
江藤 幸司（城山中）
小野 大樹（香椎中）
川野 翔太（城香中）
江上 雄治（城香中）
長田 智海（津屋崎中）
長倉 慶太（津屋崎中）
橋本 裕貴（津屋崎中）
栗川 賢（津屋崎中）
正野 裕介（津屋崎中）
（順不同）

宗像大社に御奉仕させて頂くこととなりました。宗像大社に御奉仕させて頂くこととなりました。宗像大社に御奉仕させて頂くこととなりました。

新人紹介（出仕二名）



長友 貞治
私は関東学院大学経済学部を卒業後、國學院大学専攻科にて神道について学び、今春その課程を修了し今春宗像大社に御奉仕させて頂くこととなりました。実家は宮崎県青島という山と海に囲まれた小さな漁師町であります。また小学三年から十年間、野球を続けてきたので、その経験の中で得た忍耐力と周りの全てに感謝するということを持ち、これから私が神道に携わっていく上で忘れてはならない心であると思っています。そして先輩方の話をよく聞き、御奉仕の為に身に着けたい御奉仕が出来る様、一所懸命学びそして成長していきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。 昭和五十一年四月一日生 二十四歳

藤田 俊介
私は愛知県名古屋市に鎮座する熱田神宮の境内地内にある熱田神宮学院で二年間の課程を終え、宗像神の総本宮である宗像大社へ御奉仕させて頂くことになりました。私の実家は長崎県長崎市

宗像大社に御奉仕させて頂くこととなりました。宗像大社に御奉仕させて頂くこととなりました。宗像大社に御奉仕させて頂くこととなりました。

宗像大社歌会詠草

大野展男 選 毎月25日/切

在自 佐々木和彦
山雀とすずめが交互にくる庭を時に音無く野良猫歩く
（評）作者も小動物たちも動きはじめた春意を楽しんでいるのだろ。淡々と叙しているが、そこはかとなく、人と動物たちの交歓が感じられる一首。

名古屋 小田 留子
今帰る夫より電話受けし手でガスの火つける小さき風呂の
（評）老夫婦の日常生活の一齣を切り取って短編小説の味わいがある。

光陽台 香月 照子
菜の花はきらめく春陽の下に咲き寂しさのある花と知りたり
（評）西行は、春爛漫の桜の下に死の静寂を想い、作者は早春では華やかな菜の花の中に寂しさを感じたのである。

日の里 大和美由紀
白壁に芽柳揺る川岸鴨の音は昼をまどろむ
（評）長い冬も終りに近づいたある一日の景、鴨たちも警戒心を解き日差しを楽しむんでいるのである。柳河あたりの風景を思い出させる一首である。

朝野 藤井 浩子
流行のガーデンングに及ばぬも金魚草一鉢門扉に下げ
（評）テレビなどで見るガーデンングは楽しそうであるが、手間もお金も結構かかるようだが、作者は金魚草一鉢のみ、しかしそこには作者の心意が見える。そこがよい。

鐘崎 安永 久子
等閑間に淡き灯点す防波堤ソリーにも似し光注運わて
（評）作者も小動物たちも動きはじめた春意を楽しんでいるのだろ。淡々と叙しているが、そこはかとなく、人と動物たちの交歓が感じられる一首。

田久井上 光
老妻と来し節分の居酒屋に鬼も浮世も打ち忘れ酔ふ
（評）作者も小動物たちも動きはじめた春意を楽しんでいるのだろ。淡々と叙しているが、そこはかとなく、人と動物たちの交歓が感じられる一首。

武丸 中村さつき
週一度パソコン教室に参加して八十路の吾ら楽しと
（評）作者も小動物たちも動きはじめた春意を楽しんでいるのだろ。淡々と叙しているが、そこはかとなく、人と動物たちの交歓が感じられる一首。

光岡 森田富佐子
桃節句すら飾りし床の間に笑みたる雛の面影やさし
（評）作者も小動物たちも動きはじめた春意を楽しんでいるのだろ。淡々と叙しているが、そこはかとなく、人と動物たちの交歓が感じられる一首。

光岡 古森テル子
水溜りに氷雨ふり落ちいくつもの波紋生るをみつめてをりぬ
（評）作者も小動物たちも動きはじめた春意を楽しんでいるのだろ。淡々と叙しているが、そこはかとなく、人と動物たちの交歓が感じられる一首。

曲 天野 玲子
この色がお似合いですとおだてられ派手めのブラウス買ってしまひぬ
（評）作者も小動物たちも動きはじめた春意を楽しんでいるのだろ。淡々と叙しているが、そこはかとなく、人と動物たちの交歓が感じられる一首。

田野 森 づるの
ランドセル代と差出す熨斗袋置棹は笑みて両手に受くる
（評）作者も小動物たちも動きはじめた春意を楽しんでいるのだろ。淡々と叙しているが、そこはかとなく、人と動物たちの交歓が感じられる一首。

自由ヶ丘 細川 絹子
裏庭に咲きさかりたる梅の花散り夢のみ枝に残れり
（評）作者も小動物たちも動きはじめた春意を楽しんでいるのだろ。淡々と叙しているが、そこはかとなく、人と動物たちの交歓が感じられる一首。

福間 中村 勇
塀を越え道に枝張る梅古木邪魔と知りつつ切るをためらふ
（評）作者も小動物たちも動きはじめた春意を楽しんでいるのだろ。淡々と叙しているが、そこはかとなく、人と動物たちの交歓が感じられる一首。

大島 越智 治子
今年又雛を飾りてひしもちに雲丹みそそえて雛にささげむ
（評）作者も小動物たちも動きはじめた春意を楽しんでいるのだろ。淡々と叙しているが、そこはかとなく、人と動物たちの交歓が感じられる一首。

福間 池浦千鶴子
取り終へし魁皇間は満面をゆるませすたすた花道を行く
（評）作者も小動物たちも動きはじめた春意を楽しんでいるのだろ。淡々と叙しているが、そこはかとなく、人と動物たちの交歓が感じられる一首。

名古屋 小田 喜一
恍惚の人となりたる友の顔夢見ぬ幼な郷秋に似て
（評）作者も小動物たちも動きはじめた春意を楽しんでいるのだろ。淡々と叙しているが、そこはかとなく、人と動物たちの交歓が感じられる一首。

光岡 河村 久光
スピッツがいと甲高く吠えており主に忠節つすが如く
（評）作者も小動物たちも動きはじめた春意を楽しんでいるのだろ。淡々と叙しているが、そこはかとなく、人と動物たちの交歓が感じられる一首。

日の里 佐藤 純一
吾耳に笹竹売りの放送は掻消す如く囁る鶯
（評）作者も小動物たちも動きはじめた春意を楽しんでいるのだろ。淡々と叙しているが、そこはかとなく、人と動物たちの交歓が感じられる一首。

原 八波 五月
老我が何するとなく春を待つ幼な等が来て我が手をささぐ
（評）作者も小動物たちも動きはじめた春意を楽しんでいるのだろ。淡々と叙しているが、そこはかとなく、人と動物たちの交歓が感じられる一首。

宗像大社歌会
俳句作品集 四五三

自由ヶ丘 細川 桐子
繁りたる葉かげに数個つば
きみゆ

東 郷 田中 憲家
背を水の形に植ある山葵か
な

日の里 花田いづ枝
桃の花椅子を催合いに孝子
茶屋

東 郷 三浦美千代
飛行雲二つ流るる春の夕

東 郷 田中 雨葉
春浅し一打で割る樽の酒

東 郷 木原 房子
暮廻いま公園であり重咲く

東 郷 吉武 湧泉
格構の散策道や草萌ゆる

東 郷 中野 きみ
寒き日も迎へられ行く施没
かな

東 郷 吉田 鈴子
町任みの友に土産の路の躰

東 郷 吉田 杏子
惜春や訪ねし古城の松青し

福岡 森 清
輝やける朝日もささぬ春の
風邪

(続) 浜の寄物 155



ポリタンクのドクロマーク (福岡町にて)

ハリセンボンの漂着も終
わり、しばらくの間、死骸
が浜の各所に見られたが
乾燥し、風に吹かれて砂浜
の上にとどまり、それ
も砂に覆われ見えなくな
ってしまった。

三月はじめ、福岡市東区
海の中道探検クラブの東真
一さんから、

ポリタンクは少なくなっ
たが、それでも、二個は
古賀花見や福岡花見には漂
着しているが、ひと頃のよ
ろしい。

三月はじめ、福岡市東区
海の中道探検クラブの東真
一さんから、

海の中道海浜
公園側の砂浜
にも、大量の
ポリタンクが
漂着している
という連絡を
受けた。

行って確認し
よと思った
が、別の用件
が入り断念し
た。

四月二日付
の西日本新聞
に「なぞのボ
も産卵に来る砂浜海岸であ
り、

リタンク 五〇個 事故?
災害、玄界灘海岸に漂着
古賀花見や福岡花見には漂
着しているが、ひと頃のよ
ろしい。

三月はじめ、福岡市東区
海の中道探検クラブの東真
一さんから、

海の中道海浜
公園側の砂浜
にも、大量の
ポリタンクが
漂着している
という連絡を
受けた。

行って確認し
よと思った
が、別の用件
が入り断念し
た。

四月二日付
の西日本新聞
に「なぞのボ
も産卵に来る砂浜海岸であ
り、

さて同紙は「今年は福岡
への漂着が目立つが、その
理由も不明」第七管区海上
保安本部は「韓国の海洋警
察庁に問い合わせたが、船
の沈没や大災害などの発生
情報もない」としている。

昨年、引き続き大量のポリタン
クの漂着である。その量た
る数万の数である。海上
不法投棄に数々の国際的
（東アジア地域でも）な話
し合いが望まれる。

大変冬の漂着だったが
ポリタンクを大量投棄した
津屋崎町窓の浜を思う
と暗然となる。今は砂が覆
い何事もなかったように見
えるがその下はポリ容器と
焼けただれで硬くなった砂
があるからである。これか
らのウミガメ産卵に影響な
いことを祈るのみである。

さて私事で恐縮ですが、
今迄漂着物を取蔵していた
プレハブ倉庫が古くなり、
床もブクブク、それに倉庫
も満杯となったので、思い
切って新しく作り直すこと
に

にした。今度は、厩にする
ことで収容量が大幅にアッ
プできた。

改築のためには今迄の収
蔵物を移動しなくてはなら
ず座敷を丸壊し、部屋にシ
ートを敷き大移動を行った。
プラスチックケース40箱
竹籠舟はこの際、古賀市立
歴史資料館へ運んだ。それ
でも入り切れないのが半分
ほど残り日通の倉庫に一時
保管をたのんだ。いま倉庫
がほぼ完成、再び倉庫への
移動に追われている。

漂着物も本来大部分がゴ
ミなんだが、こうして集め
てみると、一つ一つ私にと
って大切な資料である。時折
り見学者やマスコミが不用
意に「?」「こんなガララ
クタを拾って奥さんなんとも
言いませんか」ときか
しくこの上ない。ガララク
たという言葉はなんだ!

どれも拾ってきたものに
愛着があり、採集場所と年
月日を書いているので、記
憶がよみがえって来て懐し
く、しばらく手にとつてそ

の日の出来事を思い出した
りして、なかなか移動が進
まない。

漂着物の整理と保存目的
の為に倉庫で見学できない
が、一ヶ所だけ、私が将来
作るならば、こんな展示を
したいというコーナーを作
った。ココヤシの資料を並べ
た。ココヤシの実・殻・芽芽・
ココヤシ製品など、その横
にココヤシに関する文献を
並列したのである。

ココヤシを調べたいなら
ば、その実物を手にし、更
にココヤシに関する写真や
文献類も目にするのがで
きるということである。

倉庫は中央を吹き抜けに
して、通風がいいようにし
た。壁は杉材を使った。天
上の方から石垣島の金子タ
○センナのモダマと、宗像
市の山崎繁子さんからのフ
タバガキ科の羽根つき種子
をつりさげてみた。下に座
してそれを見ると南の島の
イメージが湧いて少し幸せ
になる。

モータースポーツに欠か
せないフェロード装ブレ
キパッドの採用。見晴らし
の良い着陸位置と内側にえ
ぐったサイドシルにより、
良好な前方視界と乗降性を
両立しています。

第三に、「コンパクトボ
ディでクラス最大の広さと
使い勝手」日本の駐車事情
を考慮した全長のこ
だわり、SUUVとして
ウォークスルーへ
てウオークスルーへ
のこだわり、張り出
しを極力抑えラッ
トで広い荷室。

最後に「遊びに使
える装備類へのこだ
わり」リアガラスハッ
チ、携帯電話の充電
に便利なコンセント
電源、ルーフコンソ
ール等々。マッター・ト

リビエトは、これまでに
ないライトクラスの本格的
SUUVです。ぜひ一度こ
体感下さい。

お問合せ先
宗像市大字十六四七二
（株）マッターアソシエツト福岡
宗像店
〇九四〇一三三六九一六

お詫びと訂正
三月号誌上の「トヨタ・
クルーガー」のお問合せ先
を先
宗像郡福岡中央二丁目
十七一 千四
福岡トヨペット(株)宗像店
〇九四〇四二〇九二六
と掲載しましたが
宗像市大字丸丸
四三二一
トヨタビスタ九州(株)
宗像店
〇九四〇一三七二二六六
の誤りでした。関係者を各
位、参拝者の方々に大変
御迷惑をおかけ致しまし
た。誌上より深くお詫び
して訂正致します。

また、筑前國
統風土記拾遺に
よると、「人家
の南、茶臼山に
有。此地の産神
也。所祭は市村島姫命、相
殿に宗像君遠祖吾田片隅命
を併せ祀ると云。此社宗像
七十五社の其一也。此社
むかしは村の乾草崎山麓高
き所に有。いつの時に、か
今の所に移せるならん」と
其の地に今も鳥居在。網懸
社と云。此東辺は高岸にて
其下は船人の波戸なり。上
古より沖ノ島・大島・田島
三所の神事に供する船を掛
く所なる故に、出入の船の
守護の為に祭り社なるべ
し。故に網懸社といふな

十五 津加計志神社
畠道四九五号線を神湊港
方面へ入ると、間もなく活
き魚市場で知られる割烹旅
館街となる。街の程程に旅
の交差点を左折すると、左
前方に津加計志神社の赤色
の燈籠が見える。

氏子により清掃されてい
る急な石段を登りきると、
瓦屋根の拝殿がある。その
奥に、流造りの
本殿があり、宗
像三女神をお祀
りしている神社
である。

鎌倉期年中行
事には、この神
社のことが「湊
のつかけ」と
あり、「つのか
計志神社は、津
網懸明神湊社と
も云われていた
ことからきてい
ることからきてい
る。

また、筑前國
統風土記拾遺に
よると、「人家
の南、茶臼山に
有。此地の産神
也。所祭は市村島姫命、相
殿に宗像君遠祖吾田片隅命
を併せ祀ると云。此社宗像
七十五社の其一也。此社
むかしは村の乾草崎山麓高
き所に有。いつの時に、か
今の所に移せるならん」と
其の地に今も鳥居在。網懸
社と云。此東辺は高岸にて
其下は船人の波戸なり。上
古より沖ノ島・大島・田島
三所の神事に供する船を掛
く所なる故に、出入の船の
守護の為に祭り社なるべ
し。故に網懸社といふな

ことが窺い知れる。
境内には、稲荷神社御
祭神・宇賀御魂神と地主
神社御祭神・埴安姫命他
の二つの末社を有し、美し
く飾る「みあれ祭」に続き、
三宮の御神輿が揃いになる
御旅所「頓宮」として整
地されており、大鳥居の横
に現在も網懸社がある。
筑前国統風土記には、「此
北の海中に勝島とて小島あ
るべし。津加計志といふも
網懸の略語ならん」と記
されている。

草葺半島は、現在宗像大
社の草葺半島祭のプロローグ
を飾る「みあれ祭」に続き、
三宮の御神輿が揃いになる
御旅所「頓宮」として整
地されており、大鳥居の横
に現在も網懸社がある。
筑前国統風土記には、「此
北の海中に勝島とて小島あ
るべし。津加計志といふも
網懸の略語ならん」と記
されている。

街の中心部付近に位置して
いるためでもあるうか良く
整備されており、月次祭
から神職が出向き、宗像大社
や稲荷神社の初午祭など諸
祭典を奉仕している。

例祭は九
月十五日、
氏子は四百
戸を数え、

境内には、稲荷神社御
祭神・宇賀御魂神と地主
神社御祭神・埴安姫命他
の二つの末社を有し、美し
く飾る「みあれ祭」に続き、
三宮の御神輿が揃いになる
御旅所「頓宮」として整
地されており、大鳥居の横
に現在も網懸社がある。
筑前国統風土記には、「此
北の海中に勝島とて小島あ
るべし。津加計志といふも
網懸の略語ならん」と記
されている。

話題の車紹介
マッター「トリビエト」

昨年十月発売のマッター・
トリビエトは、国内でも
屈指の本格的SUUVです。
トリビエトは、そのコン
セプトを「SUUVとしての
基本性能にスポーツカーの
魂を持った新しいSUUV」
即ち、衝突安全性・良好な
視界と柔な運転姿勢、4WD
Dの走破性/広さを確実に
するSUUVの基本性能にプ
ラスしてオフロード性能を
犠牲にすることなく、オン
ロードでのスポーツ即ち、
抜群の操縦安定性を最優先
シクルマを操る喜び、走る
楽しさ・ワクワクする気持
ちをいつまでも忘れない様

女人々々愛されるクルマ...
それがマッター・トリビエ
トです。

具体的な特徴としては、
先ず第一に「抜群のハンド
リングによる走りの楽しさ
と高性能4WD」。SUUV
の為に新設計したシャシー
と軽量・強靱なモノコック
ボディのねじり・曲げ剛性
はスポーツカーに匹敵する
クラストップレベルとステ
アリングギア比を設定。
搭載するV63.0エンジ
ンは、基準排ガス50%低
減のE-LEV認定と抜群
の耐久性で総アルミプロッ
クの軽量・コンパクトエン

ジンと、直42.8エンジン
は、FORDフォーカスの
ラリーカーの心臓部で、W
AC(ワールドラリーチャ
ンピオンシップ)で戦う強
靱なエンジンです。

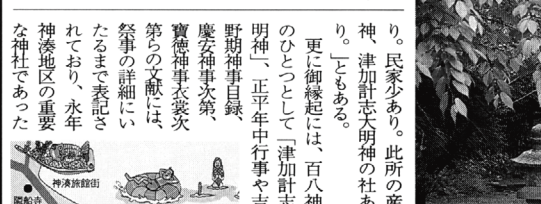
又、4WD車は、通常2
WD走行でいざという時自
動的に4WDに切り替わる
快適性とロック機構による
本格的クロナン4WD並み
の走破性と兼ね備えていま
す。

第二に、「先進技術を駆
使したお役立ちの安全性」
世界基準確保の為に徹底し
た衝突安全性。(A A A II
トリプルA: 柱間値)

最後に「遊びに使
える装備類へのこだ
わり」リアガラスハッ
チ、携帯電話の充電
に便利なコンセント
電源、ルーフコンソ
ール等々。マッター・ト



津加計志神社
神湊海水浴場
神湊
津加計志神社
宗像大社



津加計志神社
神湊海水浴場
神湊
津加計志神社
宗像大社

神郡宗像
末社めぐり